令和5年度 全国公民館セミナー　講演＋WS

地域豊饒化のための「風」、「水」、「土」、そして、「種」の話

～「不完全プランニング」と「＋クリエイティブ」～

2024.2.1

iop都市文化創造研究所
デザイン･クリエイティブセンター神戸／NPO法人プラス・アーツ
永田　宏和

1

デザイン･クリエイティブセンター神戸
センター長
株式会社iop都市文化創造研究所代表
NPO法人プラス・アーツ 理事長
永田　宏和　ながたひろかず
企画・プロデューサー
（建築・まちづくり・アートイベント）

1968年兵庫県西宮市生まれ
91年大阪市立大学建築学科卒業
93年大阪大学大学院修士課程修了
同年株式会社竹中工務店入社
2001年2月株式会社竹中工務店退社
同年3月『iop都市文化創造研究所』設立
2006年7月『NPO法人プラス･アーツ』設立
同年1月『iop都市文化創造研究所』株式化
2012年8月デザイン・クリエイティブセンター神戸（通称KIITO）副センター長に就任
2021年4月 KIITOセンター長に就任

【受賞歴】
21世紀まちづくり賞受賞（2008年度）
パートナーシップ大賞グランプリ受賞（2008年度）
「防災まちづくり大賞」　受賞（2010年度）
まちづくり法人国土交通大臣表彰（2012年度）
国際交流基金「地球市民賞」（2014年度）
JICA理事長賞（2019年度）

2

後半の**ワークショップのテーマ**は、

『 公民館のリ･ブランディング
～公民館の未来をデザインしてみる～ 』

です。
前半の講義は後半のWSのためのヒント集のようなものなので、
イメージしながらお聴きください！

3

最初に一つ…

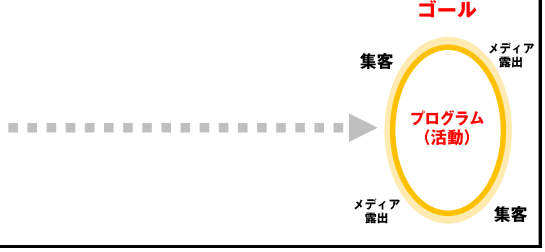
自称**「風のプロ」から**

いい活動をつくる際の鉄則を

皆さんにお伝えします！

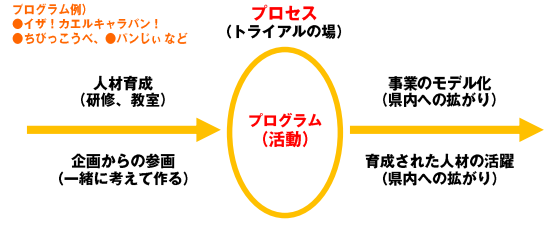
4

一般的に活動（プログラム）を作る際には、こう考えがちです…。



5

ゴールではなく、**プロセス**。
活動（プログラム）の**前も後ろもある**とは…



6

（まちづくりプロデューサーとしての）
わたしの
フィロソフィー
（活動理念）

7

地域豊饒化における
「風」「水」「土」
そして、「種」の話

私の活動理念

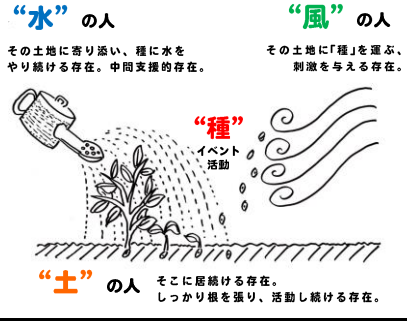
8

地域の人たちが、
お互い仲良く、生き生き暮らす
元気なまちになることを、
私たちは、
「地域活性化」とは言わず、
「地域豊饒化」と言います。

9

地域豊饒化には、
「風の人」「水の人」「土の人」
の存在が不可欠です。
↓
そして、
それぞれの「人」には、
それぞれの「作法」があります。

10



11

わたしは、「風の人」です。
地域には、「水の人」が必ずいます。
しかし、「風の人」がいません。
強い種がなくて困っています。
強い種に必要不可欠な２つの条件
について今からお話します。

12

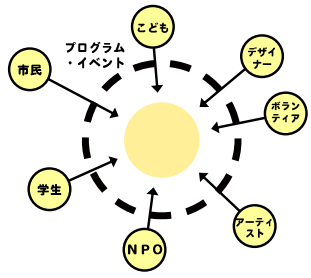
不完全プランニングのすすめ

「風の人」が運ぶ、強い「種」とは？
極意 その１

13

まちづくり活動において、
地域住民の積極的な参加や交流を
促すプログラムは、
こんな不完全なカタチが
いいんじゃないかと・・・

14



15

「不完全プランニング」とは、
つまり完成されたパッケージに
なっていないということ。

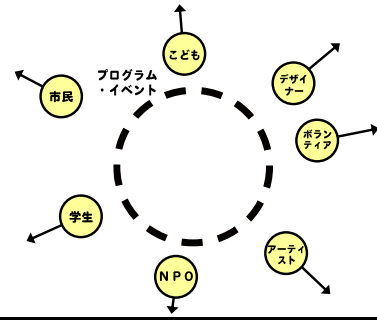
隙だらけ、穴だらけの「不完全」。
だから、みんなが関われる、
みんなで一緒につくれる、
「みんなのもの」になり、定着する。

16

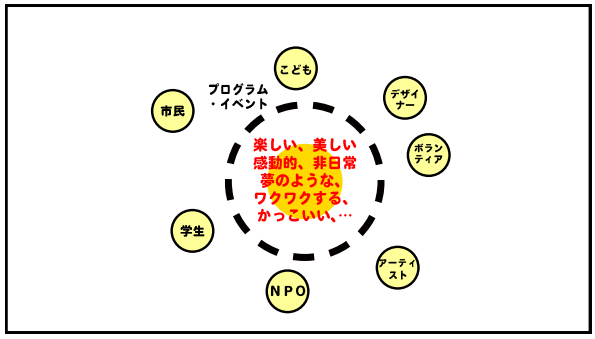
「＋クリエイティブ」という手法

「風の人」が運ぶ、強い「種」とは？
極意 その2

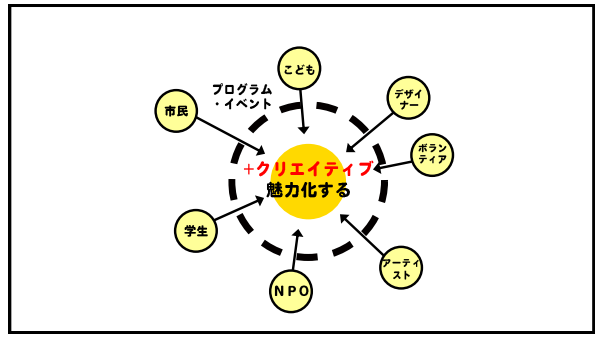
17



18



19



20

クリエイティブの意味は

「創造的な」
つまり、
「新しい何かを創り出す」こと。

そして、「創り出す」ために
「既存のものをぶち壊す」という
意味も、その語源に存在する。

21

そうです…。

すべて、
ゼロから新しく何かを創り出す
ことではなく、
今ある何かを作り直す、焼き直す
ことなのです。

22

そのためには、
これまでの事業やプログラムを

・根元から考え直してみて
・既成概念にとらわれず
・広い視野で
・違う角度から
・情熱と愛情を持って

考えてみることが大切。

23

そして、デザインを注入し、
事業やプログラムに
強度を与えて、
より伝わりやすくする。

それが「＋クリエイティブ」の
本質的な意味なのです。

24

KIITO、プラス・アーツの
活動紹介の前に
これまでの経験から導き出した
「風の人の心得」を
皆さんに簡単に紹介します！

25

風の人の心得

●普段からの心がけ
・引き出しをたくさん作る！
・種はたくさん持つ！（知っておく！）

●取り組む際の姿勢
・謙虚な姿勢からすべてが始まる。
・情熱と愛情を持ち続ける。
・障壁は必ずあると常に思っておく。

26

風の人の心得

●企画の際に気を付けること―その①
・一にも、二にも、リサーチ！
・依頼主のニーズは？時代のニーズは？時代の流れを読むことが重要。
・課題を立てる時は、じっくり考えて慎重に。
・リサーチを踏まえた直感や妄想は大切。
但し、いつでもその直感を捨てる勇気を。
・自分の「やりたい！」はない。他のために！
・事業の成功の鍵は、関わる全ての人がWIN-WINになること。

27

風の人の心得

●企画の際に気を付けること―②
・大義、ビジョンを持つ！誰の何のための企画なのかいつでも立ち返られる芯を作る。
・プロセスを意識する。できる限り多くのステークホルダーを巻き込む！
・「モデルをつくる」という意識を常に持つ。
・企画しながら、常にチェックを！「土チェック」「水チェック」「種チェック」の3つが必要。
・イベントはゴールではなく、デモンストレーション（トライアル）。だから「失敗」はない。
・デザインは企画に強度を与える。

28

KIITO、
NPO法人プラス・アーツ、iop の
活動紹介

活動事例紹介

29

30

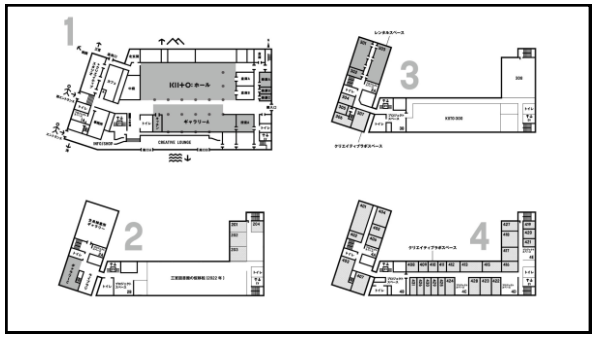
31

DESIGN AND
CREATIVE
CENTER
KOBE KIITO:

32

33

34



35

36

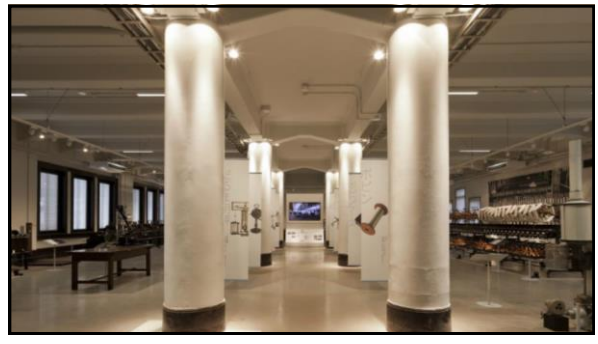
37

38

39

40

41



42

2012年度～2020年度まで
（指定管理期間第1期～第2期）

43

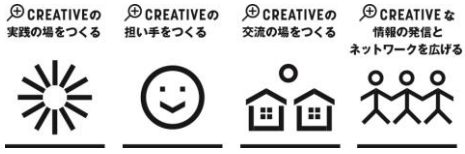
KIITOの事業

自主事業

レンタルスペース事業

44

4つの活動方針



45

寄藤文平

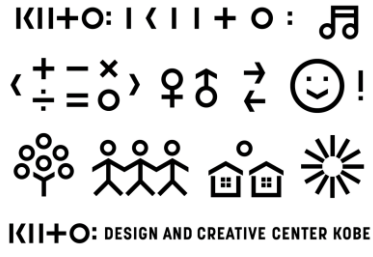
アートディレクター／文平銀座代表

1973年長野県生まれ。
武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科中退。1998年ヨリフジデザイン事務所、2000年有限会社文平銀座設立。近年は**広告アートディレクション**と**ブックデザイン**を中心に活動。
イラストレーターとして挿画の連載や、著作も行う。

46

KIITO:
DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE

47



48

KIITO: ロゴマークの考え方

「デザイン・クリエイティブセンター神戸」の実質は、そこに活動する人たちの中にある。
「ひと、まち、せかいの、センターになる」。それは、そこに集まった人が、より快適に、
より自由に活動することによって実現するものだと思う。

したがって、そのロゴマークは、その場所を提供する側の「願望」をシンボライズしたものではなく、
ここが創作活動の支援する場所であるという「態度」をあらわしたものであるべきだと考えた。

積み木のように、どのようにも組み合わせが可能で、誰かの創意が加わることで意味付けされていく、
そういった根源的な「エレメント」によって作られたロゴマークを私は考えた。

このロゴマークは 20 世紀的な「差別化」や「印象の操作」のための道具として考えたものではない。
デザイン、クリエイティブに対する「デザイン・クリエイティブセンター神戸」の知見を、
ただ端的に形象化したものだ。見る人は、その造形ではなく、このようなロゴマークを
採用する「態度」から、その精神を感じとる。それが、今回私が考えたデザインである。

デザイナー　吉藤文平

49

岡本欣也

コピーライター／オカキン代表

1969年生まれ。
1994年岩崎俊一事務所入社。2010年オカキン設立。おもな仕事は、**日本たばこ産業**「大人たばこ養成講座」シリーズ、「**あなたが気づけばマナーは変わる。**」、グリコ「あ、大人になってる。」ホンダ「ハイブリッドカーは、エコで終わるな。」、キリンフリーの開発・ネーミングなど。**日本郵政**「**年賀状は、贈り物だと思う。**」やミツカン「やがて、いのちに変わるもの。」など岩崎俊一氏との共同作業も多数。

50

これまでのキャッチコピー

みんながクリエイティブになる。
そんな時代の中心になる。

51

KIITOの明確な方向性

（子どもから高齢者まで）

みんながクリエイティブになる
そんな時代の中心になる
↓
あらゆる世代を対象とした
創造教育拠点

52

KIITO の
フィロソフィー
（活動理念）
目的：神戸の豊穣化

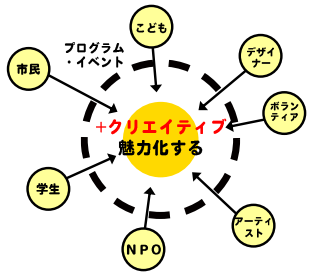
53

54

いい種の二つの条件

●不完全プランニング
・関わり代をつくる
・余地をつくる

●＋クリエイティブ
・魅力化する
「夢のような」「楽しい」
「ワクワクする」など



55

KIITOのコンセプト

「＋クリエイティブ」

デザインやアートに加え、既成概念にとらわれないアイデアや工夫を採り入れ、
身のまわりの社会的課題を解決する手法。

56

つまり、

社会課題 ＋クリエイティブ

57

具体的には、

まちづくり、教育、
観光、防災、環境、
高齢者問題、
都市施設(道路・公園)
福祉(医療・障がい者)

＋クリエイティブ

58

KIITOから
様々な種(神戸モデル)が生まれ
広まっている。

59

KIITOの活動　その１

自ら、いい「種」をつくる

60

61

ポイント！

お皿を用意することが重要
お皿の大きさは施設の大きさや
スタッフ数、予算規模に
合わせて自由自在に調整可能
「全てつくる」という姿勢が重要

62

テーマ

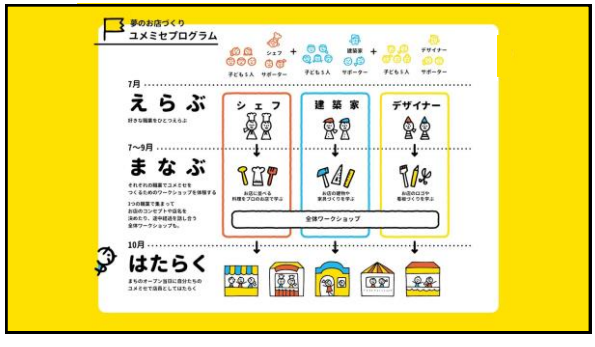
子どもたちに
学校では学べない
創造教育を！

＋クリエイティブ

子どもたちがゼロから
まちのプロに学びながら
自分たちでまちをつくる

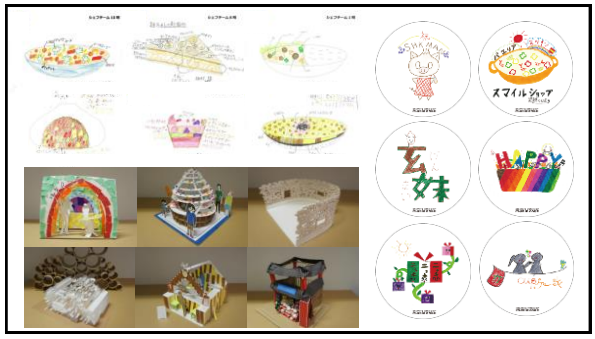
63

64



65

66



67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

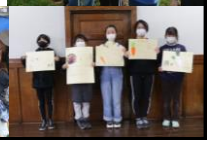
82

83

84

ちびっこうべスピンオフ企画②：神戸おやさいコンシェルジュになろう！

スーパーで見かけたり、食卓に並ぶ野菜が、誰の手によって、
どんな場所で、どうやって育てられているのか、みなさんは
知っていますか？
農家さんから神戸の野菜の魅力を伝えるための知識を身につけ、
「FARMERS MARKET」での販売を通して、誰かに伝えて
より学びを深めるプロセスを身につけました。



85

86

ポイント！

地域でよく聞く
「人がいない」、「人材不足」、…
それは言い訳に過ぎない。
人は育てればいい、育てられる
その考え方がとても重要！

87

テーマ

増加傾向にある
社会から孤立する
男性高齢者に、
創造教育を行い
まちのエンジンに
なってもらう。

→

＋クリエイティブ

男性高齢者に
パン職人から、
プロ級のパンの技術
を学んでもらう。

88

男・本気のパン教室

通称：パンじぃプロジェクト

89

第1回 男・本気のパン教室　指導：西川功晃（サ・マーシュ・オーナーシェフ）

第2回 男・本気のパン教室　指導：壷井豪（ケルン・オーナーシェフ）

90

学んだパンづくりの
“技”を使って、
まちの様々なシーンで
活躍してもらう
地域との“つなぎ”のデザイン

91

地域デビューに向けて
パンじぃを
ブランディング！

92

パンじぃ

93

94

95

デパートでの場づくり

コラボ型地域貢献イベント
大丸神戸店×KIITO

『ちびっこうべCAFE』

パンじぃ×子ども

96

97

コミュニティでの場づくり

神戸市東灘区コミュニティカフェ
企画運営：東灘区社会福祉協議会

『パンじぃのひるごはん』

パンじぃ×子ども

98

99

パンじぃプロジェクトの更なる展開

●プロジェクトの地方デリバリー展開

地方豊饒化プロジェクト

第一弾：「佐賀県武雄市図書館」

第二弾：「広島県大竹市玖波公民館」

2018年度に上記の2か所で実施済み

100

男・本気パン教室 in 武雄市図書館

101

男・本気のパン教室 in 玖波公民館（広島県大竹市）

102

神戸での、パンじぃプロジェクトの その後の更なる展開

●1期生、2期生たちのその後の活躍

●アートプロジェクトとタイアップした 5期生プログラムの実施（兵庫区新開地）
①パン教室の開催
②1日だけのパン屋さんのオープン

103

●オープンKIITOに毎年出店　●「パンじぃとパンをつくろう！」　●「定年後ワクワクするセカンドライフの見つけ方」出演

1期生のその後の地域での活躍の様子

●地域イベントに出店、行列ができるほどの大人気！　●用意したパンは完売！

2期生のその後の地域での活躍の様子

104

第5回 男・本気のパン教室　指導：松尾裕生(ブーランジェリーレコルトオーナーシェフ)

105

●パンじぃについて思っていること｜段取りさえできていれば、このメンバーなら問題ない。チームワークは抜群！／平均70歳を超えるメンバーで集まってパンをつくっているのは他にない／まっすぐな気持ちでかっこよくやりたいと常に思っている／適当な感じではやりたくない、真剣さが大切／みんな女性が好きである（お客さんも女性が多い）／パンじぃの発音はパンジー（花）の方がいい ●パンじぃの参加動機は｜神戸の有名なシェフが指導してくれるということで参加した●最近のパンづくり｜パンをつくって配ると、とても評判がいい／チーズ、アンコ、チョコ、シラスのパンを良く作っている／パンをなんとなく焼きたくなる、スーパーで小麦粉を見ると買ってしまう／パンをつくることが楽しみになっている●今後の活動や展望はあるか｜87歳でも元気なパンじぃを多くの人見せたい、それが介護予防につながるのでは？／真剣にやっているところが”かっこいい”ことをイベントを通して伝え広げたい／自分の体のためにもなっている、自分が元気であることをお手本にしたい／自分たちの健康維持には、パンじぃの活動が良かった／催事ごとにみんなと集まって話をしていることがとても楽しい／何か違う世界を見れるのではみんな期待を持っている／パンじぃが増えるだけでなく、他にも○○じぃができたら良いと思っている、他のジャンルでも楽しいチームが生まれるといい、年寄りの元気の良さを見てもらえるといい／木工をしたい、テーブルをつくる、椅子をつくるなど。●その他自由意見｜退職して1，2年は楽しかったが、その後は暇で何かしなければという気持ちになった／地元のメンバーにパンづくりを宣伝したら、話が広がってしまい、つぶれそうなお店でパンをつくれないかなど相談も来た（お店をするまでの自信はない）／パンじぃメンバーを呼べば週1回程度のパン屋さんはできるかもしれない／パンづくりという引き出しができて良かった／パンづくりを教えるところまでできるといいが、人に教えるというのはなかなか難しい、教える技術は別である。西川さんは教えるのがとても上手だった／パンじぃは、頑張れる楽しみのあるメンバーである／KIITOには感謝している、別の世界に連れてきてくれたことに／男は利害関係でつながっていた、利害なくつながれるのがいい、一歩踏み込まないと分からない／孤独はつらい

106

現在、パンじぃの活動は 大阪、横浜、福井、浜松など 全国各地に広がっている

107

108

109

110

111

112

113

さらに、
パンに続く
新たなメニュー開発へ！

114

115

2022年以降も続く
パンじぃ、コーヒーじぃ
マドレーヌじぃたちの
活躍の様子をご覧ください！

116

117

118

119

120

121

122

123

124

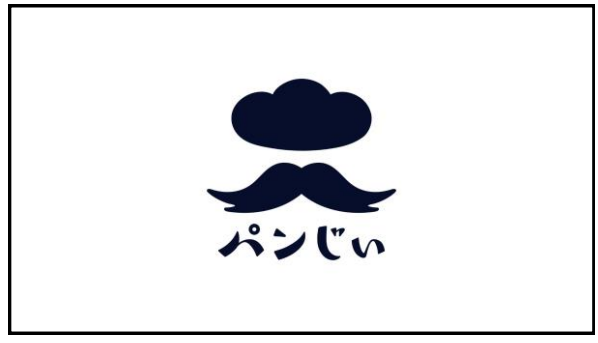
125

126

127

128

129



130

131

132

133

134

135

136

パピィ

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

今年の秋のメインイベントは
洋裁マダムが主役！
子どもたちと洋服をつくり、
最後に発表会として、
ファッションショーを開催！

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

KIITOの活動　その２

いい「種」をつくれる、

「風の人」を育てる。

174

「＋クリエイティブゼミ」

市民と一緒に「＋クリエイティブ」で
社会課題を解決する教育プログラム。
リサーチ、企画立案、アクションまでのプロセスを
体験し学ぶ。

175

176

事業化

これまでに実施したゼミは36テーマ
↓
25プロジェクト以上が実現！

177

これまでのゼミテーマ（抜粋）

- 高齢者福祉
- 障害者福祉
- 多世代交流
- 防災
- 環境
- 道路
- 医療産業都市
- 医療福祉
- 子育て支援
- まちづくり
- 災害復興
- 教育（メディアリテラシー）
- 観光
- 公園

178

ゼミから生まれたプロジェクト

プロジェクト紹介

179

ポイント！

地域はつながっているようで
あまりつながっていない。
「つなぎのデザイン」が重要
何で、どこで、つなぐのか、
様々な可能性がある。
これから紹介する事例はその一例

180

181

テーマ

ミュージアムロードの豊饒化

阪神電鉄・兵庫県立美術館・神戸市灘区

182

183

184

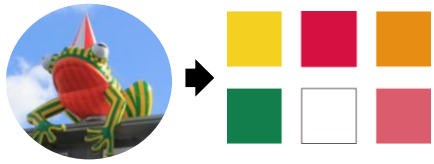
兵庫県立美術館の
屋根にいるシンボル「美かえる」

185

＋クリエイティブ

美かえるカラーで道を彩る

186



このままでは使いにくいので、
6色のカラーを抜き出し、

187

カラーパターンを
つくりました。

188

神戸ミュージアムロード
美かえるカラフル
プロジェクト
KOBE MUSEUM ROAD Mikaeru COLORFUL PROJECT

189

→ 兵庫県立美術館バナー

190

→ 阪神電車岩屋駅

191

→ ストリートアートWS

192

193

194

195

196

ツール／テーブルクロス・マスキングテープ

197

子どもたちが料理も行う。電子レンジでつくる3種のカップケーキ。

198

1日目　阪神電車岩屋駅前の広場（屋外）

199

200

201

202

マルシェ

運営メンバー／地元商店メンバー、阪神電気鉄道、兵庫県立美術館、シマブンコーポレーション

203

マルシェ

204

マルシェ
会場内にはこれまでに制作した様々なカラフルツールを使用

205

マルシェ
地元商店のメンバーも出店／周辺の酒蔵も協力して出店

206

207

208

【課 題】

神戸市須磨区役所から
老老介護のようになっている
ふれあい喫茶（コミュニティカフェ）
を多世代交流の場にして欲しい

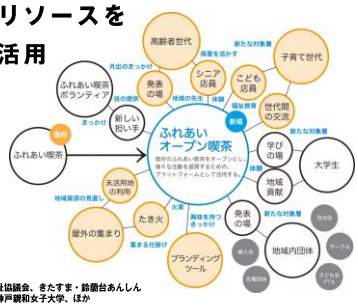
209

＋クリエイティブ

ふれあい喫茶を
ふれあいオープン喫茶に

210

地域のリソースを喫茶に活用



パートナー
須磨区・北区社会福祉協議会、きたすま・鈴蘭台あんしんすこやかセンター、神戸親和女子大学、ほか

211

神戸市須磨区でのトライアル

212

店員ツール（こども）　店員ツール（大人）　テーブルクロス　のぼり

支援ツールの制作／エプロン・テーブルクロスなどのツール

213

●普段のふれあい喫茶での紙食器づくり　●学童コーナーでの出張WS・告知

対象者である高齢者や子どもたちもプロセスに巻き込む

214

●地域の子どもたち（カフェ店員）と一緒に前日の準備

対象者である高齢者や子どもたちもプロセスに巻き込む

215

216

217

218

219

220

市内外１０ヶ所以上で
アレンジされながら展開中

221

222

【課 題】

神戸市の公園の部署から

普段人をみかけない

地域の街区公園（小公園）

を多世代交流の場にして欲しい

223

＋クリエイティブ

ピザ窯のある公園

224

→ アイデアの一つ、ピザ窯の実験

225

→ ピザ窯の実験

226

→ ピザ窯の実験

227

→ 地域でピザイベント、まずは窯づくり

228

229

230

231

232

233

234

235

236

現在、地域の街区公園・地区公園で
可動式の「ピザ釜」を活用してもらう
ために、ピザ生地のレシピや
ピザ釜の組み立て方を詳しく解説した
「ピザ釜マニュアル」を作成。
その後、ピザ釜イベントが拡散中！

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

2023年５月、
神戸市西区学園東町で
部員約30名のピザ部が発足。
11月のピザイベントに向けて
月１回の勉強会を実施中。
部員の8割は地域活動未経験者

248

249

250

251

+CREATIVE SEMINAR
vol.39リサーチャー養成編
リサーチ・リテラシーを学ぶ
例題4:商店街の空き家をみんなで考える。

講師
山崎吾郎(大阪大学COデザインセンター)
永田宏和(KIITO)

参加者
26名（5チーム）

※大阪大学フィールドプロジェクトとも連携して実施。

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

大工講座のスケジュール

	1日目 (11/22 水)	2日目 (11/29 水)	3日目 (12/6 水)	4日目 (12/13 水)
	椅子づくり	壁づくり	壁づくり	仕上げ工事
スケジュール 9:45 集合 10:00 開始 12:00 昼休憩 13:00 作業再開 15:00 終了	レクチャー 実技練習	解体 買い出し ※コーナンプロ	木工事	左官 床タイル 塗装など

271

272

273

274

275

276

今後のスケジュール案

1月	2月	3月	4月	5月
内覧会 候補日：1/20 1/21 1/23 対象：商店街の方々、KIITO関係者など 内容：コーヒーしいやパンしいに来てもらい飲食しながら内覧	ゼミ生×地域巻き込み企画 ミエコちゃんのレース編み 日高寿司の巻き寿司企画より実施	アクションゼミ発表会 日程：3/24(日)	オープニングイベント KIITOゼミ、商店街の方々のトライアル利用など	

277

KIITOの活動　その３

いい「種」のわかる
センスのある「水の人」（市の職員）
を育てる

278

＋クリエイティブ

神戸市職員研修所+クリエイティブ
普及啓発セミナー

279

280

KIITO所轄課（つなぐラボ／参画推進課：現産学連携推進課）による職員研修
施策立案や課題解決に「＋クリエイティブ」な視点を！

行政職員のための
クリエイティブ思考講座

行政課題の解決に向けて必要となる「豊かな発想」や「創意工夫」、クリエイティブなアプローチを体得する職員研修。

この研修では、前半でKIITOがこれまで取り組んできた事業や社会課題解決の事例を詳しく紹介します。
後半のワークショップでは、地域課題を例として取り上げ、＋クリエイティブの視点で解決策を議論し、アクションプランを考えます。
課題解決事例の理解とワークショップを通して課題の発見から解決につなげるクリエイティブなアプローチの体得を目指します。

281

2021年度のワークショップテーマ
＋クリエイティブで空家の新たな活用方法を考えてみる

開催｜2022年3月10日（木）
会場｜KIITO:300
講師｜永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸）
受講者｜33名

2022年度のワークショップテーマ
地域活動に無関心な若い世代をいかに巻き込むか？

開催｜2023年2月8日（水）
会場｜KIITO:300
講師｜永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸）
受講者｜33名

282

横浜市市民局主催職員対象研修「協働研修2021」｜概要

横浜市市民局市民協働推進課主催の職員研修の講師を務める。約70名の職員が参加

283

284

水の人の心得（※風の人目線）－その1

●理想的な水の人の素養（※風の人からの願望、期待？）

【プロジェクトへの関わり方】

・仕事に対して信念や夢を持っている。熱い！情熱家である。芯が通っていて、ぶれない。

・我が我がではない。行政の本来の仕事は「縁の下の力持ち」だと心得ている。

・「現場」を大切にし、「現場」に頻繁に足を運び、「現場」から多くのことを学んでいる。

285

水の人の心得（※風の人目線）－その2

●理想的な水の人の素養（※風の人からの願望、期待？）

【コミュニケーション】

・基本、明るい。人間味があり、キャラ立ちしている。

・組織内において周りを生かし、いいチームビルディングができ、スタンドプレーは決してしない。

・部下や同僚から信頼されている。仕事の関係者からも一目置かれ、強い信頼を得ている。

286

水の人の心得（※風の人目線）－その3

●理想的な水の人の素養（※風の人からの願望、期待？）

【職　能】

・役所内、組織内での調整に長けている。プロジェクトを通す力を持っている。通し方を知っている。

・沢山のデザインやクリエイティブに触れ、判断基準を持ち、絶対に自分の好き嫌いで判断しない。

・予算関係に強い。予算の引っ張り方に精通。

・制度関係にも強い。制度をうまく活用できる。

・本音と建前をうまく使い分けることができる。

287

水の人の心得（※風の人目線）

●土の人（地域住民）に対する素養

・水のやり方を熟知している。

「水をやり過ぎると（過保護に面倒を見過ぎると）根腐れしてしまう（自立しない）。」

「水をやらなさ過ぎると（最初から突き放し過ぎると）芽が出ない（活動が生まれない）。」

・土の人は友達ではない、土の人をパートナーとして捉え、わきまえた接し方をしている。ある意味一線を越えない。

288

水の人の心得（※風の人目線）

●風の人（企画のスペシャリスト）に対する素養

・風の人を対等なパートナー（上下関係では決してない、発注者-受託者でもない）として 位置づけ、リスペクトし、信頼してくれている。

・信頼して任せるが、決して丸投げはしない。一緒に取り組んでくれる。最終的にはケツを拭いてくれる。強い責任感を持ち合わせている。

・楽しい時は共に笑い、嬉しい時は共に喜び、トラブルには共に悩み、共に立ち向かい、しんどい時、辛い時には一生懸命励ましてくれる、そんな存在。

289

2021年度～
（指定管理期間第3期）

290

新しいスローガン！

これまでも、これからも。
クリエイティブが
つくるのは、元気だ。

291

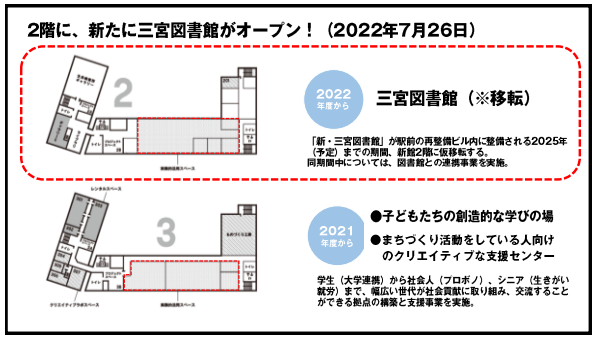
292

293

294

295

296



297

298

299

300

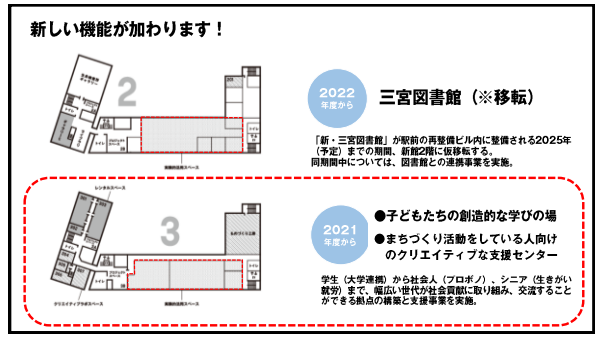
301

302

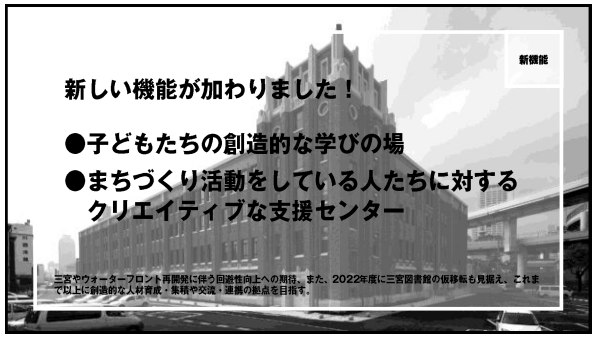
303

304

305



306

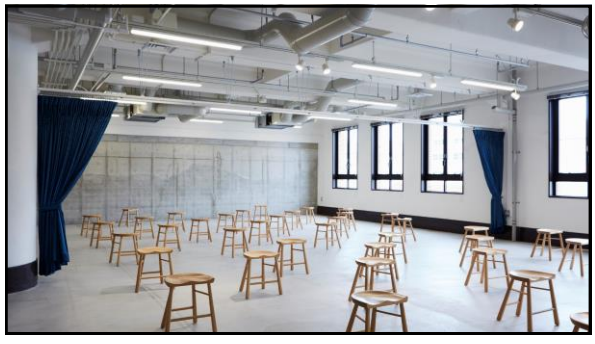


307

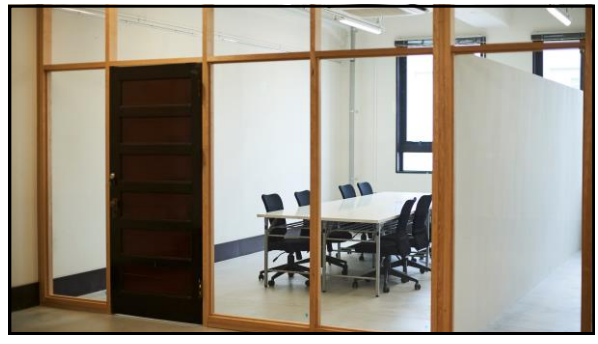
308

309

310



311



312

●子どもたちが創造的な学ぶ場
●まちづくりの活動をしている
人たちの支援センター

スペースの名称を決める

KIITO:300

313

KIITO:300
元気が集まる。元気が広まる。

314

KIITO:300
元気が集まる。元気が広まる。

315

元気が集まる。元気が広まる。
KIITO:300

316

●子どもたちが創造的な学ぶ場

KIITO:300 キャンプ

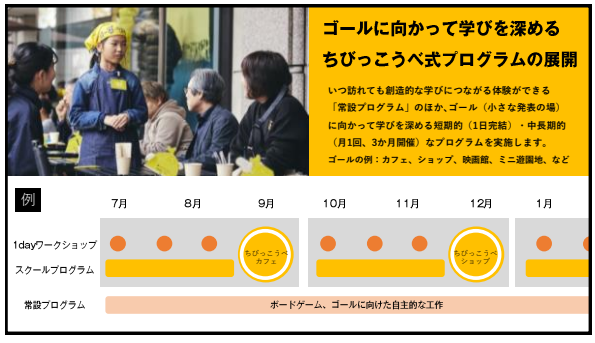
317

KIITO:
300
CAMP

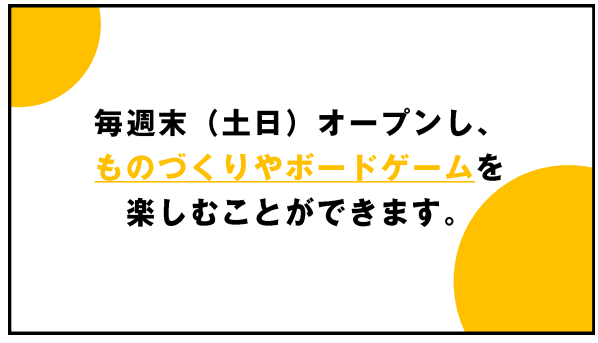
318

319

320

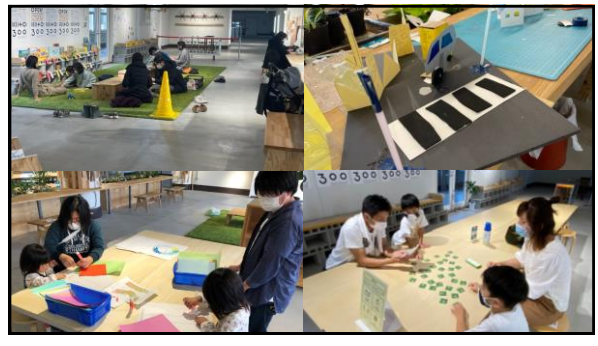


321



322

323



324

そのほかにも、
クリエイターや企業と協働して、
様々な創造教育プログラムを
幅広く展開しています。

325

ポイント！

子どもにとって、自由に「つくる」
という体験は、とても貴重。
夢（イメージ）を形にするプロセス
を大切に、様々な「つくる」を
体験できる場をレイヤーを重ねるように
社会に担保していきたい。（私の夢）

326

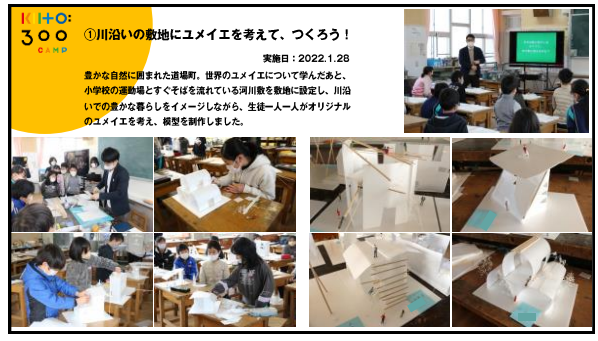
327

328

329

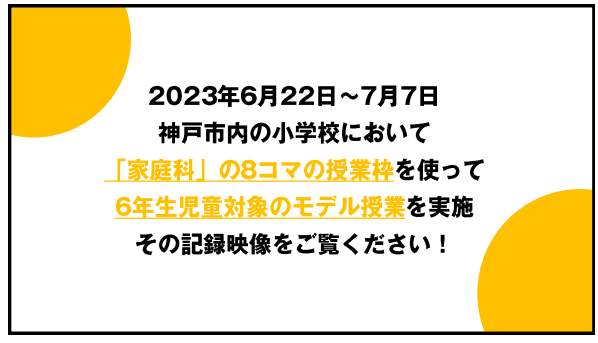
330

331

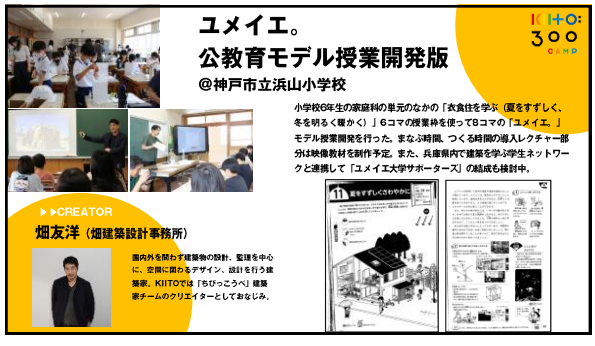


332

333



334



335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

●まちづくりの活動をしている人たちの支援センター

⇩

KIITO:300 ファーム

345

KIITO:300 FARM

346

社会貢献活動
の拠点
KIITOと社会を
つなぐハブ機能

KIITO3F新事業スペース

神戸ソーシャルキャンパス	社会課題解決分野における大学生や大学との連携	風の人育成（一部水の人へ移行）
神戸ソーシャルブリッジ	社会課題解決分野における社会人や企業との連携	
協働と参画のプラットホーム	地域課題解決分野における地域団体やNPO法人に対する支援	水の人支援（風の人育成も兼ねる）

347

学生プロジェクトの
立ち上げ・運営

KIITO:300 ファーム

❶神戸市内、関西圏の大学で新たに設置が進む「社会課題解決型人材育成機関」との連携
❷神戸市内の大学1・2回生を対象とした社会課題解決手法を学ぶ「1dayワークショップ」開催（就活対策編）
❸神戸市内の高校で実施されている社会課題・地域課題解決をテーマとした総合学習プログラムの支援を展開
❹学生が調査・企画・運営に携わり、SDGsをテーマとした、新たな地域共創イベントの開催、社会課題解決手法を学び、ネットワークを構築する場を提供
❺既存事業と連携した学生プロジェクト支援

348

社会人・シニアなど幅広い世代が参加できるプロボノ事業

❶シニア層をターゲットにした地域貢献プロジェクト
❷神戸市職員副業マッチング企画・トライアル
❸地域まちづくり大学のプログラム展開
❹企業連携：CSR・CSVを中心とした社会・地域貢献事業連携
❺既存事業と連携したプロボノ事業

349

350

社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点の運営

❶社会貢献活動に関わる団体・個人・市職員を対象としたセミナーや研修、ワークショップなどの定期的な実施

❷地域共創イベントのメインテーマ「SDGs」の各ジャンルの関連する専門家や団体を招いた講演会や勉強会の実施
※各ジャンルごとにゆるやかなコミュニティを醸成

❸これまでに紹介した様々なプロジェクト×新たなプラットフォームによって生み出される交流、化学反応

351

352

社会貢献活動・地域貢献活動300秒プレゼンテーション交流イベント

353

2022年度第４四半期以降注力している KIITO:300ファーム関連事業

▮地域課題解決＋クリエイティブトーク
社会活動・地域活動の入門編として、実際に活動している方、活動に詳しい方をお招きして、活動や課題について共有するトークイベント。

▮300秒プレゼンテーション交流会
社会貢献・地域貢献活動されている、団体や個人をプレゼンターに限られた時間の中で、活動について発表いただく、プレゼンテーション交流会。

▮地域活動のためのクリエイティブ基礎講座
チラシデザイン、写真撮影、動画編集、コピーライティング、広報やSNS発信などをテーマとして、クリエイティブの「基礎力」を上げる講座。

▮地域まちづくり大学｜KIITOキャンパス
新しい地域活動の担い手養成、協働型地域経営リーダーの養成や、ソーシャルビジネスの提案・実践をサポートする講座。

354

355

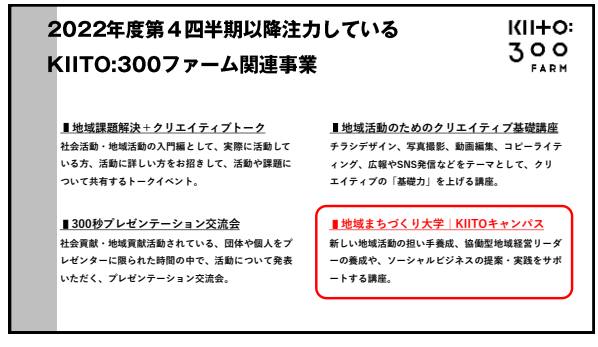
356

357

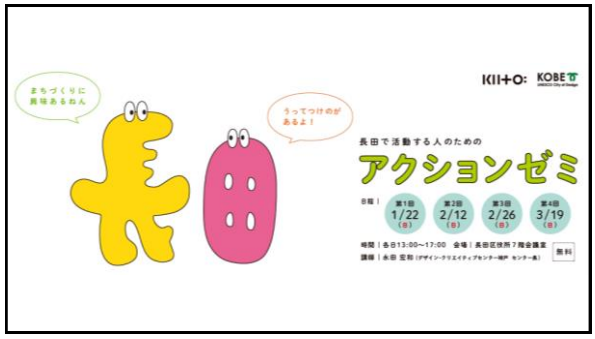
358

各回、数日で30名の定員が埋まるほど、とても関心が高かった。
次回の開催を望む声を多い。
今後、KIITO外の会場（区役所など）での実施も調整中。
中級編などの展開も検討中。

359



360



361

長田で活動する人のためのアクションゼミ　概要

日時：2023/1/22、2/12、2/26、3/19
参加者： 20～50代の12名
会社員、個人事業主、学生、大学講師など

「風・水・土ワークシート」を活用し、座学＋ワークショップで一人一人の活動づくりを目指す

362

ゼミの流れ

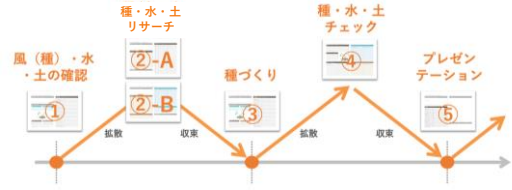
講師からたくさんの身近な事例を学び、
「風・水・土ワークシート」を活用し、魅力的な種（活動）づくりを行う

1 1/22	2 2/12	3 2/26	4 3/12
アイデアを練る 事例を踏まえてプランをたてる	フォローアップ①② ワークシートの個別エスキス		アイデアを発表する 自分がやりたいことを実現する
・風水土そして種の話 ・参加者自己紹介 ・オリエンテーション ・地域活動事例を学びつつ、アクションプランの検討開始	・プランについて一人ずつ途中発表 ・講師、長田区役所、ゼミ生同士で質疑、コメント、アドバイス ・リサーチとチェックを繰り返しプランをブラッシュアップ		・それぞれが考えた地域活動のアイデアを発表

363

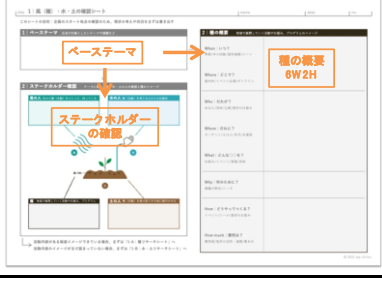
ワークシート活用イメージ

ワークシートを5つのステップで活用し、活動の種づくり



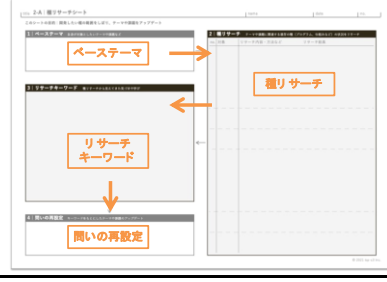
364

シート①｜風（種）・水・土の確認シート



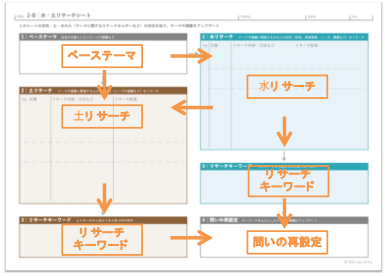
365

シート②-A｜種リサーチシート



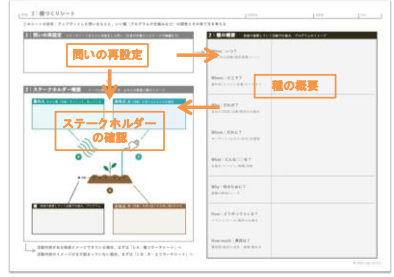
366

シート②-B｜水・土のリサーチシート



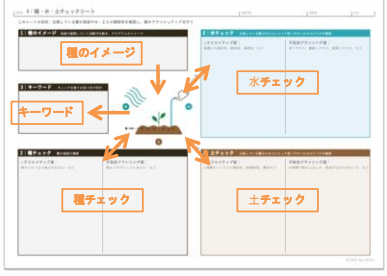
367

シート③｜種づくりのシート



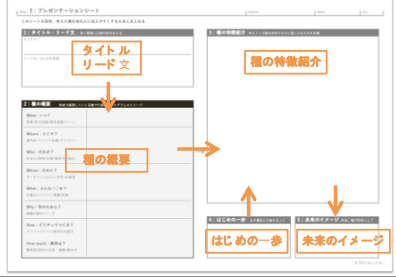
368

シート④｜種・水・土チェックシート



369

シート⑤｜プレゼンテーションシート



370

アクションゼミの様子

371

アクションゼミの様子

372

生まれた地域活動の種

さまざまな**地域活動の種**が生まれ、活動スタート中！

- ●長田区バスケットゴールプロジェクト
- ●音楽制作ワークショップ開催
- ●和菓子作りワークショップで地域多世代交流
- ●大学に地域課題解決センター設置
- ●商店街の特性を活かした遊び場の創出
- ●人と自然をマッチングする活動プロデュース
- ●地域住民が自由に関われる団体運営

など

373

ワークシート紹介①

「人流」「交流」がうまれるバスケットゴールを長田区に設置し
豊かな場づくりを行う

374

追加資料①

375

375

ワークシート紹介②

DTM(Desk Top Music：PCを用いた音楽製作)のワークショップを
多様な、広義の学びを必要とする子どもたちに向けて開催

376

376

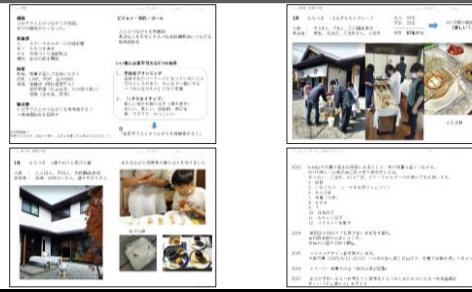
ワークシート紹介③

餅つき＋和菓子作りワークショップで地域多世代交流促進

377

377

追加資料③

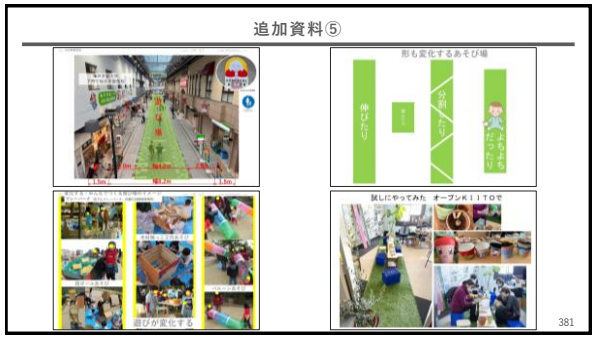


378

378

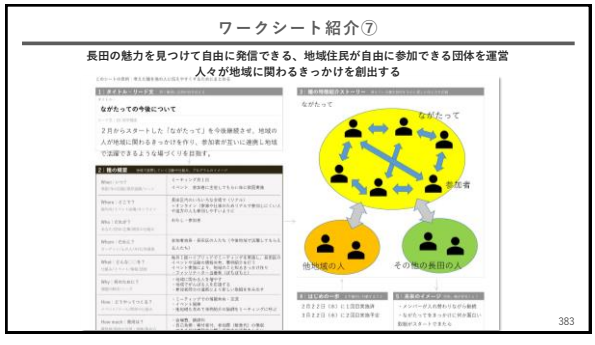
379

380

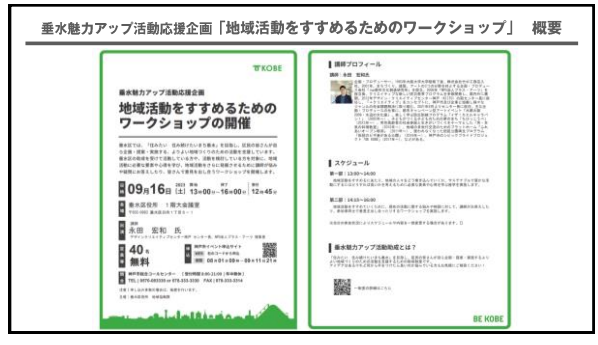


381

382



383



384

KITO:
300
CAMP・FARM

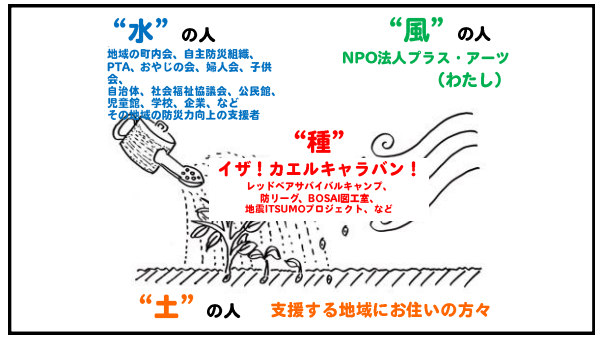
385

+arts
NPO法人プラス・アーツ

386

プラス・アーツ の
フィロソフィー
（活動理念）
目的：地域・社会の防災力向上

387

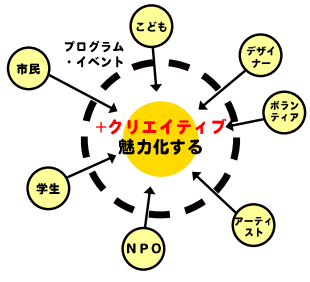


388

いい種の二つの条件

●不完全プランニング
・関わり代をつくる
・余地をつくる

●＋クリエイティブ
・魅力化する
「夢のような」「楽しい」
「ワクワクする」など



389

楽しみながら、しっかり学ぶ。
ファミリーで賑わう、新しい防災訓練。

イザ！カエルキャラバン！
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

390

ポイント！

「不完全プランニング」と
「＋クリエイティブ」を兼ね備えた
強い種の代表例の一つ。
ローカライズが関わり代をつくる。
「楽しく学ぶ」は防災以外にも導入可。

391

【課 題】

兵庫県と神戸市から、
震災10周年記念事業で
次世代を担う多くの子どもたちに
防災の教訓、知識と技を伝える
防災訓練を企画して欲しい
と頼まれた。

392

「イザ！カエルキャラバン！」 とは

体験しながら楽しく学ぶ
「防災体験プログラム」

＋

おもちゃの交換会
「かえっこバザール」

イザ！カエルキャラバン！
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

様々な人が関わり合う
防災のお祭りとしての定着へ

393

「イザ！カエルキャラバン！」のシステム

体験しながら楽しく学ぶ
「防災体験プログラム」

＋

おもちゃの交換会
「かえっこバザール」

394

「防災の教訓」に関する調査

1 インターネット

2 震災体験手記

3 震災ミュージアム

4 被災者167人へのヒアリング

395

教訓を楽しみながら学ぶプログラムに

● 被災者に教えてもらった防災の知識・技

「お皿にラップを広げて」

「ジャッキが役に立った」

「とにかく
そこらにあるもので運んだ」

紙食器づくり

ジャッキアップゲーム

毛布で担架タイムトライアル

396

イザ！カエルキャラバン！で実施しているプログラム（技を学ぶ体験プログラム系）

●水消火器的当てゲーム

●毛布担架タイムトライアル

●ジャッキアップゲーム

●紙食器づくり

397

イザ！カエルキャラバン！で実施しているプログラム（知識を学ぶ教材・カードゲーム系）

●防災カードゲーム「なまずの学校」

●防災カードゲーム「シャッフル」

●防災間違い探し紙芝居

●風水害着せ替えゲーム

398

「イザ！カエルキャラバン！」のシステム

体験しながら楽しく学ぶ
「防災体験プログラム」

＋

おもちゃの交換会
「かえっこバザール」

399

「イザ！カエルキャラバン！」の告知の方法

● 「楽しそう！」と思わせる告知チラシ

400

イザ！カエルキャラバン！の遊び方

1 遊ばなくなったおもちゃを もってこよう！

2 かえっこバンクで カエルポイントに交換！

3 ポイントでおもちゃとかえっこ！

4 防災プログラムを体験すると、ポイントがもらえる！

5 ポイントをためて、オークションに参加！

401

日本全国での展開

36都道府県で
計605回開催 (~2022年度)

402

地域支援の方法と流れ

●イベント本番までの流れ

スタッフ募集

（周辺住民への呼びかけ）

防災リーダーや婦人会、子ども会などの地域住民に関わってもらう

事前講習会（１回目）
- ●概要説明
- ●かえっこバザール説明と実演
- ●プログラムの担当割り振り

事前講習会（２回目）
- ●防災体験プログラムの実演
- ●プログラムごとに練習

本番の 約2～1ヵ月前

約1ヵ月～2週間前

403

地域支援の方法と流れ

●イベント本番までの流れ

本番までの準備
- ●オリジナルプログラムや、看板などのツールを制作

本番

本番まで

地域の人たちが主体となりイベントを運営

404

行政と地域が連携した取り組み事例：石川県 輪島市 7年以上

行政が地域団体と連携し、既存の行事とあわせて開催

主催：輪島市

連携団体：
消防局、社会福祉協議会、防災士、ＰＴＡ、スポーツクラブ、大学生(足湯隊)、金沢エコライフくらぶ(かえっこバザール実施経験団体) etc.

『イザ！カエルキャラバン！in もんぜん新そばまつり』
(2012年11月　開催)
「新そば祭り」にあわせて実施。スタッフには、お昼にそばがふるまわれた。

405

地域での取組み事例:左京区総合防災訓練（ in 松ヶ崎小学校）

自治連合会・自主防災連合会を中心に、体育振興会・消防署・消防団
PTA・おやじの会・小学校・大学・社協など、地域の団体が協働

406

地域での取り組み事例：東京都墨田区東向島「一言会」 12年以上

地域団体により、お祭りの一環として実施

３年目以降は、全プログラムが地域verにアレンジ

主催：一言会
地域の有志で集まったまちづくりの任意団体

407

地域での取り組み事例：東京都墨田区東向島「一言会」 12年以上

地蔵坂歴史紙芝居

天水尊から雨水リレー

居場所づくり

水害対策クイズ

かまどづくり

ジャッキアップピンボール

408

IZA! KAERU CARAVAN!

地域での取り組み事例：沖縄県那覇市若狭公民館

キャラクターから地域で考えたオリジナルイベントが誕生！

全てのツールを手作りし、沖縄版にローカライズ！

公民館が中心となり地域の方と開発・準備を行い実施。

409

IZA! KAERU CARAVAN!

地域での取り組み事例：広島県広島市

広島カープにちなんで「鯉こいキャラバン」を地元で開催

鯉の人形を手作りし、広島版にローカライズ！

410

くらしき防災フェア

日時　2022年11月5日(土) 10:00～16:00
会場　倉敷みらい公園、アリオ倉敷
　　三井アウトレットパーク倉敷
主催　倉敷市 危機管理課

411

くらしき防災フェア 事前研修会

倉敷市を中心とした自主防災会や防災士が96名参加

412

くらしき防災フェア 事前研修会

座学と実演を伴った研修を行い、
最後は当日担当するプログラムの自主練習を行った。

413

くらしき防災フェア イベント当日

414

くらしき防災フェア イベント当日

415

地域での取り組み事例：宮城県利府町（リフノス）

文化交流センター主催のイベントに高校生約30名がボランティアで参加！

416

学校との取組み事例：百合学院

先生と生徒が一丸となり、学校総出で開催
部活動毎に担当プログラムを振り分け、試行錯誤しながら企画運営

主催：尼崎西ロータリークラブ、百合学院インターアクトクラブ

417

学校との取組み事例：神戸市立成徳小学校

プラスアーツの講演会をきっかけに生徒が防災教育プログラムをつくり、下級生・地域の方向けにカエルキャラバンを開催

418

学校との取組み事例：大阪教育大学付属平野5校園

教育大学附属5校園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）共催
当日運営スタッフ325名、当日参加者総数1,110名の大規模キャラバン！
PTAサークルを中心に、平野区、消防署、中学校のボランティア部、高等学校SGH防災グループが運営。高校生は事前にWSを行い、イベントで実施するプログラムを開発。

419

企業との取組み事例　東京ガス

● 2007年から東京ガスの企業館で開催。11年間継続開催。

420

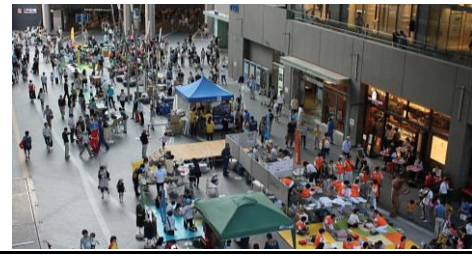
企業との取組み事例　東京メトロ

● 2015年より綾瀬の車両基地で開催。5年以上開催。

421

企業との取組み事例　東京急行電鉄

● 2011年から二子玉ライズで行政と連携開催。10年以上。



422

損保ジャパン日本興亜 「防災ジャパンダプロジェクト」

Bo-sai JAPANDA Project
防災ジャパンダ プロジェクト

大切な人を想うと、
防災を学びたくなる。

大事な人を、どうしても守りたい。
人々のために応る、そんなかけがえのない気持ちに
応えるために、生まれた取り組みがあります。
「防災ジャパンダプロジェクト」です。

それは、いろいろなゲームや体験を通じて、
いざという時の技や知識が、子どもたちでも
しぜんと身につくプロジェクトです。

損害保険会社として、災害直後にすぐ動くのは
もちろんのこと、ふだんの時から「安心」を
こつこつとお届けすること。そうすることで、
自分を守り、自分の家族や友人を守れる人を、
ひとりでもふやしたい。
そう願う私たちです。

防災ジャパンダプロジェクト

423

損保ジャパン日本興亜 「防災ジャパンダプロジェクト」

ＣＳＲ活動の一環で、防災イベントパッケージを開発。

424

損保ジャパン日本興亜 「防災ジャパンダプロジェクト」

オリジナルパッケージ　　ジャパンダパッケージ

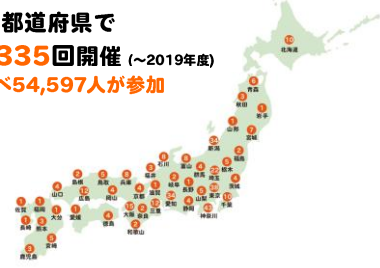
カエルキャラバンをジャパンダ版にリ･ブランディング、全国へレンタル実施

425

損保ジャパン日本興亜 「防災ジャパンダプロジェクト」

Bo-sai JAPANDA Project

43都道府県で
計335回開催 (~2019年度)
延べ54,597人が参加



426

427

428

429

430

431

432

無印良品「いつものもしもCARAVAN in 神戸」　自治体各部局、企業の出展

433

無印良品「いつものもしもCARAVAN in 神戸」　イザ！カエルキャラバン！コーナー

434

無印良品「いつものもしもCARAVAN in 神戸」　地元中学校とのコラボ

435

地元中学校とのコラボ　総合学習の時間の探究学習の成果をMUJI店内で展示

436

さらに、**少子高齢化**が進む
地域では、**新しいカタチ**の
イザ！カエルキャラバン！
の取り組みが始まっている

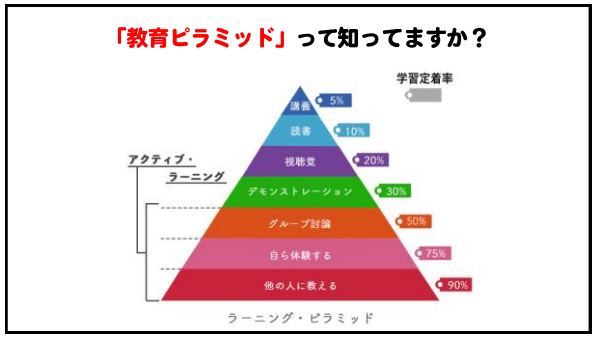
437

IZA! KAERU CARAVAN!

防災キッズ　京都府京丹後市五箇地域

プラスアーツ公認の防災教育マスター指導の下、地元小学生が活躍

438



439

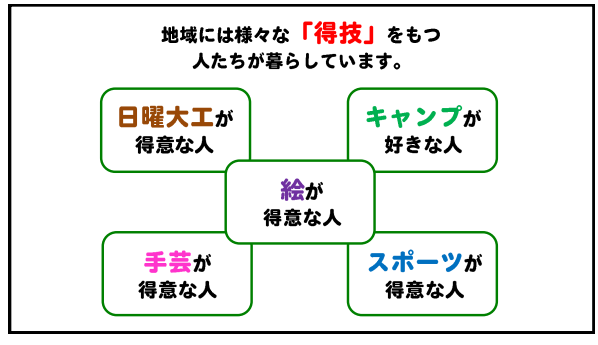
440

441

442

防災プログラムの ローカライズ事例集

443



444

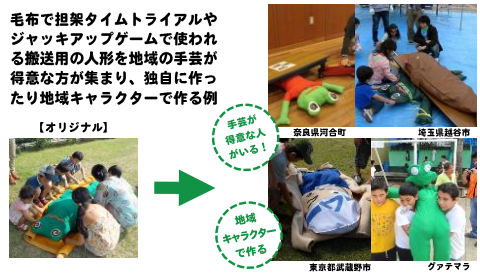
そんな「得技」をもつ人たちの
手をお借りして、各地域の地形や
歴史などから作られた
地域ならではのプログラムが
たくさん生み出されています。

445

01-1 搬送訓練用人形の作成

日本各地・グアテマラ

毛布で担架タイムトライアルや
ジャッキアップゲームで使われ
る搬送用の人形を地域の手芸が
得意な方が集まり、独自に作っ
たり地域キャラクターで作る例



【オリジナル】

手芸が得意な人がいる！

地域キャラクターで作る

446

01-2 搬送訓練用人形の作成

兵庫県神戸市

藤原台地区のオリジナルカエル人形「ふじお」と「ふじこ」
ケガ状態と救出後で、表情が変わる仕掛けになっています

447

01-3 搬送訓練用人形の作成

ニカラグア・モンゴル

ニカラグア

モンゴル

448

01-4 搬送訓練用人形の作成

石川県金沢市
エルサルバドル

オリジナルのカエル人形の型紙を用いて地元の女性たちが制作

型紙を用いて自主制作

石川県金沢市

エルサルバドル

449

01-5 搬送訓練用人形の作成

静岡県浜松市

NPO法人大工村の
オリジナルカエル人形
ストライプ柄のオシャレな
カエルになりました！

450

防災プログラムのローカライズ事例集

02-1 搬送訓練用の担架に代わる道具の選定

インドネシア・フィリピン

毛布で担架タイムトライアルで使用する「担架」に代わる道具の選定に関して、各国（インドネシア、フィリピン）でその国の生活文化に合わせた日用品が選ばれている。

【オリジナル】

各国々ならではの日用品を選定

インドネシア

フィリピン

451

防災プログラムのローカライズ事例集

02-2 搬送訓練用の担架に代わる道具の選定

インドネシア・フィリピン

フィリピンでは各家庭で愛用されている伝統的な敷物「バニック」を活用

インドネシアでは男性向けの伝統的な巻きスカート「サロン」と竹で簡易担架を制作

452

防災プログラムのローカライズ事例集

ストラックアウト型

03-1 水消火器で的あてゲーム

宮崎県宮崎市

人気プログラム・ストラックアウト型の的あてゲームを地域の職人や日曜大工が得意な方などが作った事例

【オリジナル】

【地元の方が開発したもの】

1年目

2年目で更に進化！

453

防災プログラムのローカライズ事例集

ストラックアウト型

03-2 水消火器で的あてゲーム

東京都・亀沢

454

防災プログラムのローカライズ事例集

ブックエンド型

03-3 水消火器で的あてゲーム

神奈川県湯河原町

消火器訓練で使用する簡易の的。ストラックアウト型の的に比べて運搬が容易で簡単に制作ができるのが特徴。様々な地域でオリジナルの的が開発されている。

【オリジナル】

455

防災プログラムのローカライズ事例集

その他

03-4 水消火器で的あてゲーム

インドネシア

インドネシアで開発された的。フライパンと赤く塗ったサッカーボールをバケツに載せただけというシンプルな仕組み。アイデアを出し合い、地域の資源を利用して作成した事例。

【オリジナル】

456

防災プログラムのローカライズ事例集

04　対決！バケツリレー

インドネシア・グアテマラ
モンゴル

バケツリレーの訓練で使用されるツールの開発事例。オリジナルはバケツに溜めるスタイルだが、水を勢いよくかけるための的が制作された。

【オリジナル】

【地元の方が開発したもの】

457

防災プログラムのローカライズ事例集

05-1　食器

インドネシア

【オリジナル】
新聞紙で紙食器づくり
（日本）

【地元の方が開発したもの】
バナナの葉で食器づくり
（インドネシア）

458

防災プログラムのローカライズ事例集

05-2　食器

タイ

タイでもインドネシア同様、材料にバナナの葉を用いた食器づくりプログラムを導入している

459

防災プログラムのローカライズ事例集

06　人形劇

日本各地

【オリジナル】

独自の演出方法（東京都多摩市）

新たな台本を作成（新潟、宮崎 etc）

ナレーションの得意な方が担当
（神奈川県湯河原市）

460

防災プログラムのローカライズ事例集

07-1　防災教育カードゲーム「シャッフル」

日本 ※オリジナル

461

防災プログラムのローカライズ事例集

07-2　防災教育カードゲーム「シャッフル」

日本 → タイ

タイではさらにローカライズが進み、イラストもタイのデザイナーがオリジナルのイラストに変更。

462

防災プログラムのローカライズ事例集

07-3 防災教育カードゲーム「シャッフル」 | 日本→タイ→フィリピン

日本とタイをお手本にフィリピン版シャッフルを開発。

463

防災プログラムのローカライズ事例集

08-1 独自に開発されたプログラム | 日本各地

新聞紙でスリッパづくり（静岡県浜松市）

命をまもるワークショップ（愛知県半田市）

464

防災プログラムのローカライズ事例集

08-2 独自に開発されたプログラム | 日本、グアテマラ

視覚障害者を避難させるプログラム（グァテマラ）

視覚障害者体験（東京都清瀬市）

465

防災プログラムのローカライズ事例集

08-3 独自に開発されたプログラム | インドネシア

水で濡らした麻袋を使った消火訓練

災害時を想定した電話での通報訓練

土砂災害の仕組みを学ぶプログラム

466

防災プログラムのローカライズ事例集

09 キャラクター（シンボルマーク） | インドネシア

地域独自のキャラクターの例。
その地域で愛されている動物を採用することで、
より愛着が湧き、継続開催にもつながりやすい。

カエルからカンチェル(子鹿)へ

467

神戸市防コミ支援事業(2023年～)

KOBE CITY of DESIGN

神戸市にある9区・192防コミの中から選定された2防コミを対象にした活動支援事業。各地区が抱える地域課題(マンネリ化、高齢化、少子化、…)に対して、地区と共に話し合い効果的な方法を模索する。

事前調査 → 区内の防コミを対象にした相談会 → 地区選定 → **選定地区と共に話し合いを重ね施策を検討する** → イベント → 評価

参考:くらしき防災フェス(倉敷市危機管理室)

468

その他の
楽しく学ぶ防災イベント・
防災教育プログラムのご紹介

その他の「種」の紹介

469

ポイント！

「防災×●●」プログラム
「●●」の強度によって、
防災プログラムの魅力化を図る。
「キャンプ」「スポーツ」「謎解き」など。
ブランディングやデザインも
魅力化の重要な要素となる。

470

防災イベント

レッドベア RED BEAR サバイバル SURVIVAL CAMP キャンプ

防災訓練プログラム ＋ キャンプ系サバイバルプログラム

災害時に必要なことは、
ほぼキャンプで学べる。

471

レッドベアサバイバルキャンプとは？

472

キャンププログラムの紹介・1日目

火起こし体験

ペットボトルろ過器づくり

ロープワーク体験

釜戸ごはんづくり

473

キャンププログラムの紹介・2日目

レッドベアオリエンテーリング

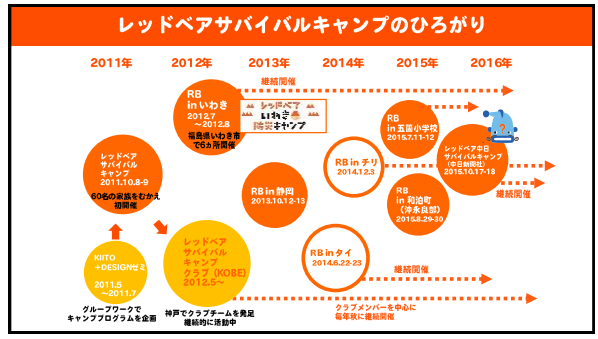
●火起こしチェレンジ

●ロープワークチャレンジ

●紙食器チャレンジ

474

475



476

477

478

479

480

防リーグ in 関西国際大学 (三木キャンパス)

2021年７月10日　イベント終了後に集合写真を撮影

481

防リーグ in 関西国際大学 (三木キャンパス)

2022年2月5日、関西国際大学の学生たちが担い手となって、地域の子どもたちを対象にイベントを実施。

482

防リーグ in 関西国際大学 (三木キャンパス)

2022年2月5日、関西国際大学の学生たちが担い手となって、地域の子どもたちを対象にイベントを実施。

483

防リーグ in 関西国際大学 (三木キャンパス)

2022年2月5日、関西国際大学の学生たちと参加者の地域の子どもたちが集まって記念写真を撮影。

484

防災イベント

BOSAI図工室

身の回りの物で作る防災グッズの工作コーナー
「カエルキャラバン」や防災イベントで展開中！

485

『BOSAI図工室』のご紹介

身の回りの物でつくる防災グッズの工作コーナーとして
全国の「カエルキャラバン」や防災イベント等で展開中！

486

『BOSAI図工室』実践事例

『イザ！カエルキャラバン！in交野市』の1コーナーとして実施

487

『BOSAI図工室』実践事例

『イザ！カエルキャラバン！in交野市』では人気コーナーに！

488

『BOSAI図工室』実践事例

第3回 防災サタデー2019 大阪府高石市立羽衣小学校

489

防災工作本の出版

学研より、新刊「防災工作」出版！（税込4,620円）

490

イザ！3くまキャラバン！in さんちか

開催概要

■ 日時
2022年9月17日(土),18日(日),19日(祝)
※9月19日は台風のため中止
10:00-19:00（※最終日は17:00終了）

■ 会場
さんちかホール、夢広場（※抽選会場）

■ 目的
三宮地下街への誘客
さんちかのキャラクター「3くま」のPR強化

■ 対象
子どもを中心としたファミリー層

■ 参加費
無料

491

イザ！3くまキャラバン！in さんちか

492

イザ！３くまキャラバン！in さんちか

493

防災教材（カードゲーム、紙芝居など）

防災カードゲーム 『なまずの学校』

防災ボードゲーム 『GURAGURA TOWN』

防災カードゲーム『みんなで遊んでたすカルテット』

防災カードゲーム 『シャッフル』

494

防災イツモ講座

受講者の平均満足度98%を誇る、暮らしの防災講座

495

防災イツモ講座

暮らしに寄り添った防災講座。豊富なカリキュラム、
より詳しく学べる、知って得する防災の知識や技が満載！

496

行政との取り組み

2015年-19年の5年間で850人以上の県民講師が誕生。
2018年創設の「インストラクター制度」に326名登録。
県民講師による講座に延べ約10万人の県民が既に受講。

埼玉県「イツモ防災事業」

ショッピングセンターでのイベント体験（実地研修）

497

行政との取り組み

堺市介護予防事業：防災教育インストラクター養成講座

地域に暮らす高齢者を防災教育の担い手として育成して、地域で活躍しながら
いきいき暮らしてもらう介護予防プロジェクト

あ・し・た・て 65歳からの 明日をつくる
堺サンドイッチキャンパス

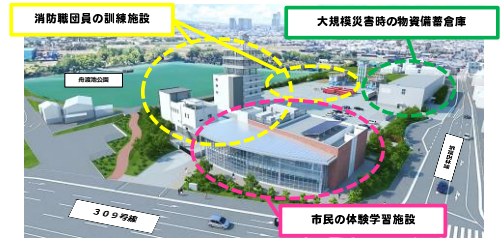
498

堺市
総合防災
センター

499

堺市総合防災センター

●各施設の配置



500

【課 題】

堺市消防局から

提示されたお題は、

「防災展示空間をもっと

面白くしてほしい」

501

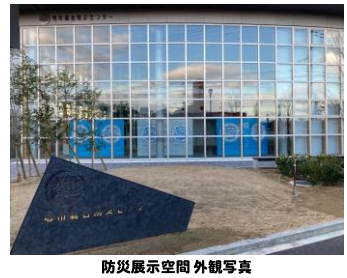
502

堺市総合防災センター

市民の体験学習施設　外観写真

503

堺市総合防災センター



防災展示空間 外観写真

504

堺市総合防災センター

防災展示空間 完成写真

505

堺市総合防災センター

防災展示空間 完成写真

506

堺市総合防災センター

防災展示空間 完成写真

507

堺市総合防災センター

防災展示空間 完成写真

508

堺市総合防災センター

防災展示空間 謎解きシート（初級～超級）

509

堺市総合防災センター

防災展示空間 謎解きシート（初級編・中級編）

510

堺市総合防災センター

防災展示空間 謎解きシート（上級編・超級編）

511

この防災展示の
アイデアのヒントは、
「ハニーハント」と
「謎解き」にあった。

512

513

514

515

その他の
地域コミュニティのレベルの
プロジェクト紹介

その他の「種」の紹介

516

ポイント！

「灯り」系プログラムは、
コミュニティ醸成に効果大。
様々なバリエーションが存在するが
共通項は、「みんなでつくる」。
コスト的に比較的安価で実施可能。

517

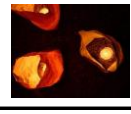
灯りイベントを
コミュニティ醸成
のきっかけにする

518

519

「灯明」 プログラムとは

色とりどりの紙袋とロウソク使った紙灯籠



【講 師】

尾方孝弘氏
（一級灯明師・建築家）

過去の灯明実績
○博多灯明ウォッチング
○海の灯まつりin お台場
○新開地生誕100年の饗宴
○水都大阪灯明2009・2012

1998年から「博多灯明ウォッチング」の灯明制作指導および、「富見川灯明まつり」や「海の灯まつりin お台場」でも灯明制作の企画指導をしている。2009年8月には、水都大阪2009制作協力。

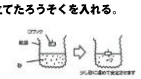
520

「灯明」 プログラムとは

■灯明の作り方

①紙袋をくしゃくしゃにする。
②紙袋に砂を入れる。
③下絵の色を確認しながら、紙袋を並べる。

④紙袋をきれいに並べる。
⑤紙袋に芯を立てたろうそくを入れる。



⑥最後の調整をしながら、紙袋の口を少しすぼめる。

521

「灯明」 プログラムとは

様々な表現で灯りを楽しむプログラム

○様々な色の紙袋を使うことで、灯明を絵の具のようにして地上絵を描くことができます。

○きり絵やメッセージを描くなど様々なアレンジが可能です。

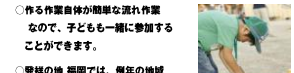
522

「灯明」 プログラムとは

参加型プログラムによる地域住民の参画

○作る作業自体が簡単な流れ作業なので、子どもも一緒に参加することができます。

○発祥の地 福岡では、例年の地域行事として開催しています。



523

灯明師による事前レクチャー

約3カ月前　灯明座学 … 灯明師によるレクチャー講座

約2カ月前　デザインワーク① … 灯明のデザインとなる地上絵のポイントや図面のかき方を学ぶ。

1～2カ月間：現地調査・チームでデザイン検討

約1カ月前　デザインワーク② … チームで考えたデザイン発表。その後エスキスを行いブラッシュアップ。

準備作業 … 本番までに紙袋をくしゃっとする作業や下絵作成をおこなう。

本番

524

灯明師による事前レクチャー

【灯明座学】

尾方氏による「灯明座学」

自己紹介の様子

おさらいテストの様子

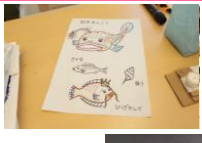
525

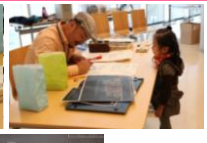
デザインワーク

参加者が地上絵の図案を考えます。

526

デザインワーク





図案が完成しました。

527

準備作業

灯明を下準備し、図案に沿って並べていきます。

528

準備作業

下絵が完成しました。

529

点　灯

ろうそくを入れて、点灯します。

530

完　成

531

完　成

532

完　成

533

完　成

534

完　成

535

都島区民センター（大阪市）での取り組み

講演会をきっかけに地域団体が独自に実施

地域住民（町内会）が発起人となり、社会福祉協議会と協働で独自に灯明イベントを開催。図案も参加者で相談しながら決定。

2013年12月18日の講演会後、地域団体が中心になって1月10日に実施。

地域の大人たちが世話役になって、子どもたちも参加して賑やかに開催。

536

都島区民センター（大阪市）での取り組み

2014年の3月11日に２回目を開催。
被災地に向けてメッセージを発信。

537

●スケジュール
1日目：9/17(日) 15:00-19:30@KIITO／灯明レクチャー、グループ毎にミニ灯明制作
2日目：9/24(日) 13:00-16:00@KIITO／本番用図柄制作、本番事前準備
3日目：10/8(日) 13:00-21:00@東遊園地・こども本の森 神戸／設営、展示、撤収

538

灯明師育成WS
第１回

539

540

541

542

543

544

545

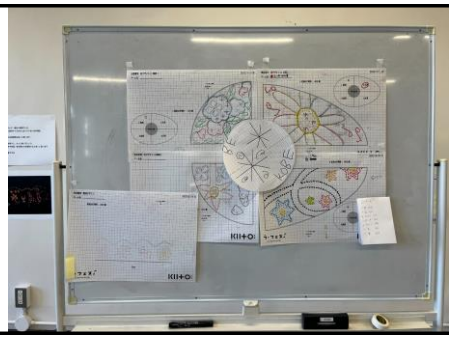
546

灯明師育成WS

第２回

547

548



549

550

灯明本番

＠須磨寺

2023.12.9

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

後半のワークショップのテーマは、

『 公民館のリ・ブランディング
～公民館の未来をデザインしてみる～ 』

です。
今聴いていただいた講義の内容を参考にお昼休みにイメージを膨らませておいてください。午後からアイデアを爆発させましょう！

565

566